学校番号	１１５

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	精選　現代文Ｂ　改訂版（筑摩書房）						
副教材等	読解を深める現代文単語(桐原書店)、キーワード漢字 2700(浜島書店)、新総合国語ガイド(京都書房)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年現代文では、近代以降の文章（論理的な文章、文学的な文章、実用的な文章）を題材に、「読む」「書く」技能をさらに向上させることを目指します。
まずは資料を正しく読み取り、正しく伝わるように記述することを目指します。「正しく」読む・書くというのは文と文・語と語などの関係性を考えながら読み書きすることです。
また、「新傾向」といわれる、実用的な文章を題材にした問題や、複数の資料をふまえて考えるような問題に取り組みます。授業時間は限られているので、漢字や現代文単語、文学史、ことわざや四字熟語などは自宅で復習しておいてください。

２　学習の到達目標

１、近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
２、近代以降の様々な文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
３、進んで表現し、読書することによって国語の向上をはかり、人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d：読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述内容の確認 記述内容の分析	グループ活動の様子や発言内容 発表の仕方 記述内容の分析	記述内容の確認 記述内容の分析 小テスト 定期考査	発言内容 記述内容の確認 記述内容の分析 定期考査	発言内容 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期中間	評論	虚ろなまなざし(岡真理) 小説とは何か(三島由紀夫)	○		○	◎		a:時事問題について積極的に知る態度を持っている。 c:筆者の主張を説明できる。 d:具体例と抽象的な記述との関係を理解する。	a:発言内容 c:課題の記述内容 d:定期考査
一学期期末	小説・評論	急須(南木佳士) 近代の成立(橋爪大三郎)	○	◎		○	○	a:小説を自己の問題として関心を持つ。 b:登場人物の言動の理由や本当の豊かさについて話し合う。 d:登場人物の性格や行動、コンクリートによって表象を操作する問題点を正しく読む。 e:近代の概念を正しく理解する。	a:発言内容 b:行動の観察、記述内容の確認 de:定期考査
二学期中間	評論	貨幣共同体(岩井克人)	○		○	◎	○	a:共同体のありかたについて関心を持つ。 c:筆者の主張を説明できる。 d:筆者の主張をまとめることができる。 e:近代の思想に触れる。	a:定期考査 c:課題の記述内容 de:定期考査
二学期期末	評論・韻文	陰翳礼賛(谷崎純一郎) 俳句	○	◎		○		a:修辞的な文に興味関心をもつ。 b:「日本美」について意見交換を行い、理解を深める。 d:韻文についての知識を持つ。	a:発言内容 b:行動の観察、記述内容の確認 d:定期考査
三学期	評論・新傾向問題	無常ということ(小林秀雄) 複数資料の読み取り	○		○	◎	○	a:随筆的な論文に興味関心をもつ。 c:筆者の主張を説明できる。 d:筆者の言う「無常」について理解している。 e:図表の読み取り方を理解する。	a:定期考査 c:課題の記述内容 de:定期考査